



大阪発達総合療育センター機関紙  
第46号 2022年 秋

## INDEX

・葦46号挨拶文 ……………1P	・臨床心理科のお仕事 ……………3P
・葦46号挨拶文 ……………1P	・グループホーム「きらり」経過報告 ……………3P
・大阪発達総合療育センター 第1回WEB公開講座開催 ……………2P	・リレーエッセイ ……………4P
・新しいチャレンジ技能実習生について② ……2P	・イベントピック ……………4P
	・寄付金と寄付物品 ……………4P
	・職員研修実績状況 ……………4P

## ■葦46号挨拶文

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

鈴木 恒彦



依然、新型コロナウイルス感染症の影響から抜け出せない昨今ですが、関係部署の努力で法人初のWEB公開講座を成功裏に開催することができ、嬉しい限りです。更なる興味ある今後の公開講座が期待されます。将来的に不足する療育介護の人材育成のための海外技能実習生の研修（ベトナム）の現状と、当施設での公認心理師の具体的お仕事が詳しく紹介されています。これからの現場での発展的活躍が楽しみです。8月に開設したばかりのグループホーム「きらり」は大変なご苦勞を重ねていますので、皆でお手伝いしていきましょう。来年度入職予定の内定式は、意欲溢れる熱気でした。今回も上野氏のリレーエッセイを楽しく読ませて頂きました。

## ■葦46号挨拶文

大阪発達総合療育センター センター長

船戸 正久



コロナ禍第7波のピークと猛暑がやっと済み、換気の良い所ではマスクを外して一息つける環境になりつつあります。ただし第8波やインフルエンザの同時流行に対する警告もなされ、2つのウイルスに対するワクチン接種の推奨がなされています。早くコロナ禍とロシアによるウクライナ侵攻が終わるのを祈るばかりです。コロナ禍は憂鬱な日々ですが、一つこの感染を機会に広がったのは、ZoomなどSNS（Social Net Service）を使った会議や学会、そして講演などの普及です。このWeb技術を使うことにより会場だけでなく、自分の家や他府県の施設からも容易に参加が可能となりました。

今回、この技術を使って初めて「公開講演会」を開催しました。第1回目は、びわこ学園医療福祉センター草津の口分田施設長に素晴らしい講演をしていただきました。今後も引き続き教育研修委員会の方で企画しますので、気楽にご参加宜しく願います。



# 大阪発達総合療育センター 第1回WEB公開講座を開催しました!

教育研修部 科長

脇 暁子

今年こそ大阪発達総合療育センター主催の公開講座を実現させたい!との思いから計画がスタートし、7月28日に第1回WEB公開講座を開催することが出来ました。

第1回目の講師として、社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津の施設長 口分田政夫先生に、「糸賀先生・岡崎先生の療育理念とベッドサイドで学んだこと」とのテーマでご講演いただきました。センター内の参加人数89名に加え、WEB申込のあった24施設の方々と個人申込54名、またYouTubeによる2週間の配信も含め、多くの方々にご視聴いただくことが出来ました。口分田先生のご講演では、糸賀先生・岡崎先生の残した「この子らを世の光に」・「本人さんはどう思てはるんやろ」という大切な思想の観点から、障がいをもたれた方々の存在意義と具体的なベッドサイドの支援内容をご教授いただきました。アンケート結果も、十分・大体理解できたが94.1%、十分満足・満足できた91.2%ととても好評でした。

今後も引き続き公開講座を開催していく予定です。随時センターより公開講座開催のお知らせを配信させていただきます。是非ご参加下さい。宜しくお願いいたします。

大阪発達総合療育センター WEB公開講座  
『糸賀先生・岡崎先生の療育理念とベッドサイドで学んだこと』

日時 令和4年7月28日(木) 17:45~19:00

講師 社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター 草津 施設長 口分田政夫 先生

申し込み 参加費:無料  
締め切り:7月21日(木)まで  
お申し込み方法:QRコードから申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

申込受付の日はお申し込み代金をお申し込み下さい。  
お申し込みは先着順とし、定員超過の場合は調整させていただきます。  
申し込みいただいた個人情報は本講座のみに使用します。

<https://www.apsc.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/07/20220728.pdf>

社会福祉法人 びわこ学園 大阪発達総合療育センター  
〒599-8502 大阪府堺市東区 山崎町1-1-10 山崎ビルディング 5F

公開講座パンフレット

## 新しいチャレンジ 技能実習生について②

療育部療育科 科長 宮崎 俊也



左から ナムさん・山口科長・ニュンさん・マイさん

今年度、新たに3名のベトナム人技能実習生を採用させていただきました。(昨年度採用の3名はコロナ禍等の影響により辞退されました。)この3名を含めてAPSコンソーシアム介護スキルラボに参加している24名の実習生に対し講義を行う為、当センターから私と山口科長とで滞在期間を分け訪越してきました。現地で実習生達に講義を行うと、日本語と介護の知識・技術を得ようとする姿勢がヒシヒシと伝わってきました。熱意がすごいです!講義中、真っすぐな目で熱心に話を聴き、実技においては失敗しても再チャレンジする、休み時間でも日本語

や実技の練習をしている姿が印象的でした。また、ベトナム料理や観光地・文化を教えてくれたりと休憩時間等で実習生とコミュニケーションをとる事ができ、生活習慣や考え方等を知ることができたことも訪越したからこそだと実感しています。

今後の予定と致しまして2023年2月頃からセンターでの実習が開始となります。いずれの実習生も異国での生活と介護実習にチャレンジすることは、多くの心配や不安がある事を私たちは理解し、安心して日本で生活できるようにサポートをしていきたいと考えます。そして、実習生活の中で利用者様からの学びや日本文化をたくさん知ってほしいということと、この技能実習制度を通し実習生だけでなく当法人の職員も成長できればと思っております。



## 臨床心理科のお仕事

公認心理師 岸本 岳

「臨床心理科には6名の非常勤の公認心理師が在籍しています。主な業務は、医師の指示による発達検査や発達相談を行っています。それらを通して、お子さまとご家族が共に心ゆたかな生活を送れるようなファミリーサポートを目指しています。



また、2020年より小児特定疾患カウンセリングが新設され、保険適用内で公認心理師によるカウンセリングを実施しています。これまでカウンセリングの場合は、自費負担による対応のみでしたが、医師の指示に応じて、心身の不調や困り感のある方に少ない負担で受けていただくことができるようになりました。カウンセリングなどの心理的な支援を通じ、これからの生活がよりよいものとなるように、お子さんやご家族の話に耳を傾け、気持ちに寄り添えるよう努めていきたいと考えています。

## グループホーム「きらり」の経過報告

きらり サービス管理責任者 菅 直樹



2022年8月1日にグループホームきらりがオープンして2か月が過ぎました。8月6日には新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し閉鎖となり、入居者様・関係者の皆様には多大なるご迷惑をおかけしました。感染が発生した時の対応や予防策を整え、その後14日に無事に事業再開となり、それから入居者様との日々がようやく始まりました。

入居者様のほとんどが実家から離れての生活が初めてでしたが、すぐに慣れ安心して生活をされています。平日は日中活動への参加で忙しくされていますが、休日には長居公園のチキンフェスタに出かけて好きなものを食べたり、屋上のテラスでは花火やお月見を

して楽しい日々を過ごしています。最近では、きらりでチームを組んでポッチャ大会に申し込み、優勝に向けて練習にも励んでおります。

ご家族様も面会に来られて元気な姿を見てご安心いただいています。しかし、面会中に「さみしい」との声がちらほらと聞かれ、離れて暮らすことへの複雑な想いが感じられます。

これからも入居者様と一緒に、充実した生活を送れるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



療育部 なでしこ 上野 剛士

葦46号リレーエッセイを受けさせてもらう、療育部の上野剛士です。私は子供の頃から約40年、サッカーを続けています。社会人1年生の時に仕事の縁で大阪府社会人リーグに誘われました。仕事をして夜に練習して週末は試合か小学生のサッカーの指導を2年間させてもらいました。そのあとOBの方に誘われ本気モードのサッカーにハマり大会で大阪NO.1にもなり、TOKIOのガチンコというテレビにも出られました。本気のサッカーは引退し、末娘が小学校のサッカー部に入るのと同時にコーチに就任しました。子供たちを教える難しさ知ってスポーツメンタルコーチの方に指導してもらいコーチングのスキルを上げながら現在も楽しくサッカーをしています。

今回は臨床工学技士の坂本さんです。お楽しみに！



# イベントピックアップ

## 内定式

10月3日に、令和5年4月入職予定の新入職員13名が参加し、内定式を5階ホールにて執り行いました。



# 感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

### 一般寄付金

(R4.7 ~ R4.9)

月	寄付者 (敬称略)	
7月	楽基金 4件	本園
9月	楽基金 4件	本園

### 寄付物品

	寄付者 (敬称略)	物品名	
7月	久島文和	ルームランナー	あさしお園
	匿名	ぬいぐるみ類	本園
	匿名	DVD	本園
	匿名	飲み物	本園
	村井尚子	おむつ	本園
	匿名	おもちゃ	本園
8月	匿名	いす	本園
	匿名	ホワイトボード	本園
	匿名	筆記用具等	本園
	浅田扇太郎	カットシューズ 2足	本園
9月	村井尚子	SRC (小)	本園
	山本芽依	プロンボード	本園
	匿名	紙マスク (多数)	本園
	檜原琴音	おむつ・スカート	本園

## 職員研修実施状況

令和4年7月~9月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和4年7月2日(土) 9:00~17:00	教育研修部	中堅職員研修	株式会社インソース 重里恭子 氏	16名	5階ホール
令和4年7月28日(木) 17:45~19:00	教育研修部	公開講座 「糸賀先生・岡崎先生の療育理念と ベッドサイドで学んだこと」	社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津 施設長 口分田政夫氏	89名	5階ホール他
令和4年9月10日(土) 13:30~17:30	教育研修部	若手職員パワーアップ研修	株式会社インソース 黒山みちよ 氏	25名	5階ホール



## 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)  
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)  
主として重症心身障がい児者  
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児  
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児  
いぶぎ(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)  
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21  
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・鈴木恒彦

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)  
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856  
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)  
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856  
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)  
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児  
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児  
〒552-0004 港区夕凧2-5-3  
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524